

なえぼ 自慢

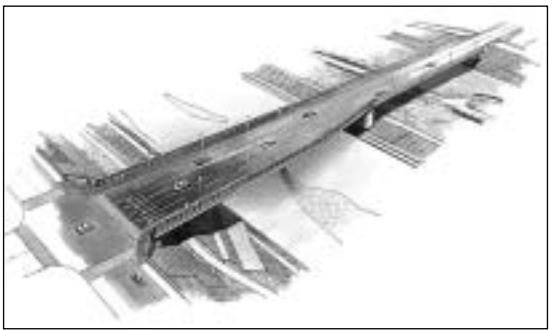
未来の場所

21世紀の架け橋「平和大橋」

苗穂駅前から白石区を経由し、厚別区、北広島市・西の里にいたる都市計画道路「平和通」整備の一環として、東橋とJR線鉄橋のほぼ中間に建設されます。両側に歩道のついた片側2車線の橋になる予定です。

これまでに白石区側の橋台（橋を両側で支える台）と橋脚（橋を支える脚）はほぼ完成しており、1ページ目で紹介したバスツアーでも見ることができます。平成12年度中に中央区側の橋台の工事が行われ、平成13年度に橋桁（橋脚の道路部分を受ける桁）を渡し、そして平成16年度中には通行が可能になる予定です。

苗穂を21世紀に大きく発展させる資源ともなる橋です。活用のための議論を今から積み重ねていかなければなりません。



これからの行事予定・お知らせ

■まちづくり会議＆ワークショップ

第3回目のまちづくり会議は、札幌市主催の「第2回 まちづくりワークショップ」と共同で開催します。

苗穂をもっと素晴らしいまちにするための会議です。多数のご参加をお待ちしております。

キリトリ線
郵便はがき
060-8787
料金受取人払
札幌中央郵便局承認
705

とき:2月21日(水)18:30~20:30
ところ:東区苗穂本町地区センター
(本町2条7丁目)

主催:札幌市・苗穂駅周辺まちづくり連絡協議会

お申し込み:必要ありません
(当日、会場で受付します)

お問合せ先:札幌市都市局市街地整備部
地域計画課
斎藤・辻・碓井・片岡
(TEL:011-211-2545)
または、連絡協議会事務局
(下記参照)まで



札幌市中央区北2条東13丁目26

苗穂駅周辺まちづくり連絡協議会事務局

村岸 省三 行

募集!!

■一緒に「なえぼマップ」をつくりませんか?

2ページ目でも触ましたが、連絡協議会の案内板部会では「なえぼマップ」をつくります。何を掲載するのか、どんなデザインにするのかなど、現在検討中です。

「楽しそう!と思ったアナタ、一緒にマップをつくりませんか? 参加を希望される方は、事務局までご連絡ください(連絡先は下記参照)。

また、緑化推進部会、ニュースチームのメンバーも募集中です。

●発行者:苗穂駅周辺まちづくり連絡協議会

●連絡先:同事務局

〒060-8787札幌市中央区北2条東13丁目26

TEL:011-251-4624 FAX:011-231-6038(村岸省三)

●編集:株式会社 ノーザンクロス

●平成12年12月発行

※当協議会は札幌市の支援を受けて活動をしています。

イベントアイデア募集!!

苗穂であつたらしいな、というイベントのアイデアを募集します。夢のあるアイデア、実行可能なプランなど、お待ちしています。



はばたく苗穂 第5号

苗穂駅周辺まちづくりニュース

第5号

なえぼ探検バスツアー レポート

10月14日、連絡協議会主催で、JR苗穂工場、豊平川、札幌村郷土記念館、サッポロビール工場を巡るバスツアーを行いました。参加者は50名。その模様を写真と参加者のレポートでお知らせします。

①JR北海道苗穂工場

副工場長の説明のあと、敷地内にある鉄道技術館や工場施設を探検。甲子園球場が5つも入る敷地を歩き回るのは相当骨が折れました。



明治43年に倉庫として建てられた北海道鉄道技術館

②豊平川河川敷

平和大橋予定地付近の豊平川河川敷を見学。緑化推進部会の大島氏より、河川敷緑化の取り組みについて説明がありました。



「河川敷に降りる階段がなくて不便」という声も聞かれました

③札幌村郷土記念館

こんな博物館が苗穂にあるなんて…と目を見張ったのが札幌村郷土記念館です。館長の大島氏からは、大友亀太郎にまつわる興味深いお話を。



開拓初期の生活がしのばれる館内で館長のお話を聞く

④サッポロビール博物館

ビールの製法や歴史を興味深く見学しました。昔のポスターやビール瓶を展示しているコーナーでは「懐かしい!」の声も上がりました。



見学の最後はできたての生ビールで乾杯!

苗穂の歴史に触れて

石川 キヨ
(中央区)



当日は好天に恵まれ、抜けるような青空の下での見学会はとても楽しいものでした。

これまで漠然と電車や汽車を利用してはいた私ですが、苗穂工場を見学して、大変なご苦労があってこそ、安心して乗ることができます。また、工場施設の大きさにも驚きました。

札幌村郷土記念館は初めてだったのですが、陳列されていた数々の生活用品には見覚えのあるものが多く、昔日への郷愁を感じました。

あるときは熊や鹿と闘い、やっつけたというドサンコ馬の働く姿も展示されていたのですが、「昔はこうだったのよ」と私たちに優しく語りかけていくように見えて、思わずつぶらな目のあたりになってしまいました。力強く伸びる大木やたまねぎ畑の背景画からは、札幌開拓の昔を見た気持ちでした。

広く伝える工夫を

大島 倫
(中央区・緑化推進部会 部会長)



このツアーで苗穂に素晴らしい産業・文化施設があることを改めて知ることができました。特に札幌村郷土記念館には開拓時代(安政年間)からの資料、物品などがところ狭しと並んでいましたが、もっと設備の整った大きな建物に陳列し全民にPRしてほしいと思いました。

また、当時のことを詳細に研究された館長さんの、熱心な説明を聞かせていただきました。このように語り部風に伝承することも実感が伝わり非常によろしいのですが、新しいメディアで伝える方法も併せて考えるべきではないでしょうか。

幕府による開拓当初は苗穂地区が中心部であったが、明治政府によって本府地区に札幌の中心が移されてしまったこと、また、幕府方が名づけた「大友堀」の名称が明治政府により「創生川」と改称されてしまったことなどを知ることができ、タイムスリップしたような、楽しい一日でした。

参 加 者 レ ポ ー ト

なえぼのマップをつくろう！

—第2回まちづくり会議報告—

11月8日、苗穂会館(中央区北1東10)にて行った2回目の「まちづくり会議」のテーマは「なえぼのマップをつくろう」。今年度に「案内板部会」でつくる「なえぼマップ(仮称)」の材料出しが目的です。約40名の参加者で、苗穂にある史跡や見どころなどを、地図の上におとしていきました。

また、作業の前には、「JR苗穂駅北側地区再開発協議会 市民・歴史・文化まちづくりプロジェクトチーム」座長の永喜多氏より、プロジェクトチームの平成10年から現在にいたる活動の中で収集された、苗穂の歴史資源についての発表がありました。



「なえぼMAP(仮称)完成版」は
来年の春、皆さんにお配りする予定。お楽しみに!!

- ①リサイクルのお店「りんごの木」
- ②石づくりの倉庫が残る。隣には窯元も
- ③苗穂神社(苗穂地区からは少し離れていますが……)
- ④昔ながらの銭湯「梅の湯」
- ⑤「すずかけ公園」にはスズカケの大木が
- ⑥大覺寺には山門のほか「五百羅漢堂」もあります
- ⑦「大覺寺通」「歴史通」「史跡通」
なんて名前もいいかも
- ⑧苗穂小学校の校内には自然を再現したビオトープが
- ⑨昭和48年からある駄菓子屋さん「金谷商店」
- ⑩スズカケ並木を活かしたい「すずかけ通」
- ⑪古い石蔵あり

- ⑫苗穂記念館
- ⑬「可否茶館・焙煎工場」ではコーヒー豆の販売も
- ⑭その昔、小さなトンネルがありました
- ⑮石づくりの倉庫を活用したレストラン「のや」
- ⑯病院の裏に50本のポプラ並木があるって知っています?
- ⑰「開拓使道路」とも呼ばれています
- ⑱初代北大総長・佐藤昌介男爵の居宅があった。
当時の松の木が今も残る
- ⑲緊急用のヘリポートがあります
- ⑳世界でもまれな都市の中を流れ、鮭が遡上する川「豊平川」



まちづくり活動報告

心をこめて踊りました！

東光小が出張踊りボランティア

「学芸発表会で見せてくれた素晴らしい踊りをぜひもう一度！」という「老人保健施設 德洲苑“なえぼ”」の方々の声に応え、11月26日(日)、東光小学校6年生総勢78名の子どもたちが“なえぼ”で「YOSAKOIソーラン」「みかぐら」「南中ソーラン」を披露しました。

“なえぼ”的「11月誕生会」のお祝いとして行われたこの企画、子どもたちにとっては、初めての学校外での踊りでした。

お年寄りたちは口々に「かわいいね」と子どもたちのエネルギー溢ぎの踊りに見入っていました。



多くの寄付が集まりました

第15回 苗穂地区交通安全チャリティーパーティー

12月1日、中央区の苗穂会館にて、「苗穂連合町内会婦人部」「苗穂地区交通安全母の会」「苗穂杉の木子ども会育成会」の主催で、中央区・谷区長出席のもと、交通事故の減少と交通安全の啓蒙を目的としたパーティーを行いました。

参加者は150名を数え、飾りつけられた会場がはちきれんばかりの大盛況。婦人部手づくりのおでんや、ビール、ワインを手にダンスなどに打ち興じ、たいへんにぎやかなパーティーとなりました。



このイベントでは今までに「中央区交通安全推進協議会」に対して、60数万円の寄付を行っています。

皆さんからの声

■苗穂を文化の街に T・Nさん(60代女性)

苗穂は市内中央に近い位置なのに空き地が目立ちます。人が集まりやすいアンティーク市とか、市民のためのギャラリーなど、文化の香りのする街として発展させてはいかがでしょうか。

(編集部)「アンティーク市」や「市民ギャラリー」は楽しそうですね。事務局でも検討してみます。

札幌市には「札幌市自然史博物館」という構想があるようですが、まだ立地場所を含め具体的なことは決まっていないようですが、協議会としてはぜひ苗穂に誘致し、苗穂をより文化的なまちにするための核にしたいと考えています。

また、現在の苗穂を見渡すと、「バスツアー」で訪れた3つの博物館や雪印の資料館などいくつもの博物館があり、史跡も多く存在します。これらを広く皆さんに知ってもらい、まちづくりに生かしていくための取り組みの一つが左のページで紹介している「マップづくり」なのです。

■協議会と区の関係は? T・Nさん(70代男性)

「連絡協議会は札幌市の支援を得て活動……」とのことですが、協議会は中央区と東区に分かれています。両区役所との関係はどうなっているのでしょうか?

また、今後のイベント、行事は南北分かれており、一丸となっての実施こそ、交流、「はばたく苗穂」のイメージにつながると思う。

将来への苗穂のまちづくりの基礎にもなることであり、PRはもっと必要だと思います。

(編集部)当協議会は札幌市の「都市局 市街地整備部 地域計画課」という部署から「まちづくり住民活動支援事業」の一環として補助を得、活動を行っています。現在のところ、東区、中央区の両区役所と直接の関係はありませんが、今後、必要なことが出れば、協力していきたいと考えています。

今後のイベントやPRについてはおっしゃるとおりです。今後は南北合同のイベントや取り組みを増やしていきたいと考えています。

キリトリ線

皆さんの声をお待ちしています

苗穂のまちづくりに対するご意見やアイデアなど、どしどしお寄せください。また、前号に引き続き、苗穂の名所もお待ちしています。

寄せられたものは紙面で紹介していきます。

キリトリ線

お名前

(男・女)

年齢 才 ご職業

電話番号

ご住所

ご協力ありがとうございました。